

神戸大学経済経営研究所ウェビナー

藩札から銀行へ ～渋沢栄一と明治の金融革命～

事前登録者のみ
参加無料

「国立銀行紙幣」(日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵)



渋沢 栄一

現在放映中のNHK大河ドラマ『青天を衝け』では、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の明治維新前後における活躍が描かれています。明治維新は産業革命だけでなく、金融革命をも日本にもたらしました。本ウェビナーでは、「明治の金融革命」に焦点を当て、江戸時代の藩札の機能から、明治時代の国立銀行の設立まで、渋沢栄一の果たした役割を含め、日本経済史における最先端の研究者3名が一般の方向けに紹介します。その後、参加者の皆様からいただいた質問にお答えし、フリーディスカッションを展開します。奮ってのご参加をお待ちしています。

本ウェビナーは、神戸大学先端融合研究環プロジェクト「歴史資料・企業資料のデータベース化、及び画像・テキストデータに基づく歴史・実証・文理融合研究」の成果に基づくものです。

パソコン・タブレット・スマートフォンで
リンクをクリックするだけで参加できます

午後4時～午後6時
2021年12月5日(日)

PROGRAM

- モデレーター／上東 貴志(計算社会科学研究所センター長)
- 司会進行／朝山 くみ(フリーアナウンサー)

平成11年神戸大学経済学部卒業。名古屋の東海テレビに就職し、報道番組の司会やスポーツ中継のリポーターなど幅広く経験。出身地の関西で、フリーアナウンサーとして活動を開始し、NHK大阪「ウィークエンド関西」のメインキャスターを4年務めた。

第一部

- 「大坂商人が支えた大名財政—融資・藩札発行・産業育成—」
高槻 泰郎(神戸大学経済経営研究所 准教授)
- 「藩札の流通と回収—高知藩札・上田藩札の事例—」
小林 延人(東京都立大学経済経営学部 准教授)
- 「渋沢栄一の紙幣事始め—播磨国一橋領での経験と国立銀行—」
鎮目 雅人(早稲田大学政治経済学術院 教授)

第二部

■パネルディスカッション

参加者からのご質問に基づくフリーディスカッション



上東 貴志
神戸大学計算社会科学研究所センター長



高槻 泰郎
神戸大学経済経営研究所 准教授



小林 延人
東京都立大学経済経営学部 准教授



鎮目 雅人
早稲田大学政治経済学術院 教授

渋沢栄一が発行に關与した「一橋領 御産物木綿預手形」(日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵)

渋沢栄一の名前が朱書きされた「国立銀行紙幣」(日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵)

参加登録
方法

参加をご希望の方は、以下に記載の【WEB申込みフォーム】よりお申込みください。【WEB申込みフォーム】は、神戸大学経済経営研究所のホームページトップにある「イベント予定」からもリンクしています。

神戸大学経済経営研究所



WEB申し込みフォーム: <https://www.ocans.jp/kobe-u?fid=70sG0P36>

主催:神戸大学経済経営研究所
共催:神戸大学先端融合研究環
「歴史資料・企業資料のデータベース化、及び画像・テキストデータに基づく歴史・実証・文理融合研究」プロジェクト／計算社会科学研究所センター／神戸大学金融研究所／兼松セミナー

Email: kenjo@rieb.kobe-u.ac.jp
(神戸大学経済経営研究所 共同研究推進室)
お電話でのお申込み、お問い合わせはご遠慮ください。



WEB申込みフォーム
は上記QRコードから